



被災した子ども達を支える 大学生ボランティアの養成研修を開催

大学生ボランティア(ブラザー・シスター)の養成研修を開催

● 11/5(土)・20日(日)のどちらか1回、11/6(日)・19(土)のどちらか1回、計2日の参加が必要です。

被災した子ども達への支援

研修を主催するチャンス・フォー・チルドレンは、東日本大震災で被災した子ども達に、塾・予備校・習い事などで使えるクーポン券を提供しています。この研修を受けた大学生ボランティアは、クーポンの提供を受けた子ども達に対して、クーポン利用に関するアドバイスを行い、子どもの学習・進路相談に応じます。

月に1回被災した子ども達と会話

当研修を受けた大学生ボランティアは、月に1回被災した子ども達の学習や進路の相談に応じます。被災した子ども達がもつ不安を和らげ、アドバイスをする役割を担います。月に1回のコミュニケーションは、電話又は訪問で行い、小学生から高校生の子子ども達が対象となります。

目的は可能性を広げること

被災した子ども達に対する支援活動の目的は、心理面に対するケアではなく、必要な情報提供や相談に応じることを通して、子どもの将来の自立を支援することです。震災という不可抗力の中でも、子ども達が可能性を広げるための機会を得て、必要な情報を得ることが大切だと考えています。

専門家の先生の養成研修・継続的なサポート

学生ボランティアはこの研修で対人関係や子どもの進路等に関する知識を学びます。また、2ヶ月に1回専門家の先生や仲間の大学生に子どもと関わる上での悩みを共有し、助言をもらう場を設けています。このような継続的にボランティアをサポートする体制があるため、安心して活動することが出来ます。

研修スケジュール

形式	日程	時間	カリキュラム	講師
講義形式	11/5 (土) or 11/20 (日)	13:20~15:05	Chance for Childrenについて、当制度の概要	雑賀 雄太(Chance for Children代表理事)
		15:15~16:05	子どもの貧困、貧困家庭の実状	松本 幸子(社会福祉士/宮城県中央児童相談所元職員)
		16:15~17:15	被災した子どもの心理状態、支え方	佐藤 利憲(仙台青葉学院短期大学看護学科精神看護学助教)
		17:25~18:15	進学・就職・経済的支援制度	松浦 智博(株式会社テュナミス取締役キャリア教育コーディネーター)
実習形式	11/6 (日) or 11/19 (土)	9:50~11:10	コミュニケーション基礎	出村 和子(弘前学院大学客員教授 / 仙台的のちの電話理事長)
		11:20~12:20	コミュニケーション実践	
		13:00~16:10	ロールプレイング	
		16:15~17:05	ワーク(ブラザー・シスターの役割)	

研修内容

■Chance for Children/ブラザー・シスター制度の概要
Chance for Childrenがどのような取り組みを行っており、その中で学生ボランティアにどのような役割を期待しているのかについて説明します。

■子どもの貧困、貧困家庭の実状
日本の子どもの貧困の実状について学びます。具体例をあげながらどのような点が問題で、その背景には何かあるのかを考えます。

■被災した子どもの心理状態、支え方
災害時の心の反応、遺族の心理、喪失体験による心の動きなど、被災した子どもの心理状態を学び、どのように支えていくべきかを考えます。

■進学・就職・経済的支援制度
高校入試、大学入試の諸制度や高卒での就職の実状について学びます。また進学していくうえで活用できる経済的支援制度について説明します。

■コミュニケーション基礎/実践
対人コミュニケーションにおける基礎的な知識、子どもとコミュニケーションをとるうえで必要となるスキルを実践を交えて学びます。

■ロールプレイング
実際に子どもと面談する場面や電話で会話をしている場面を想定し、子どもの役や学生ボランティアの役を演じ、体験します。

■グループワーク
子どもと関わる際に大切なこと・ブラザー・シスターとしての役割について小グループで意見を出し合い、最後に参加者全員で共有します。

企画概要

- 日時 ①講義形式
2011年11月5日(土)/11月20日(日)13:00~18:40
②実習形式
2011年11月6日(日)/11月19日(土) 9:30~17:30
※①のどちらか1回、②のどちらか1回、計2日の参加が必要です。
- 場所 ○11月5日(土)/6日(日)
仙台市市民活動サポートセンター
〒980-0811 仙台市青葉区一番町四丁目1-3
○11月19日(土)/20日(日)
仙台市民会館
〒980-0823 仙台市青葉区桜ヶ岡公園4-1
- 講師 佐藤 利憲(仙台青葉学院短期大学看護学科精神看護学助教)
出村 和子(弘前学院大学客員教授/仙台いのちの電話理事長)
松浦 智博(株式会社デユナミス取締役キャリア教育コーディネーター)
松本 幸子(社会福祉士/宮城県中央児童相談所元職員)
- 対象 被災児童・生徒への支援活動に関心のある大学生・大学院生
- 定員 40名(各回40名ずつが定員です)
※応募が殺到した場合、男女比・学年・出身高校を考慮した上で選考させていただきます。
- 費用 参加費無料
※自宅から研修場所までの往復交通費、昼食費は自己負担となります。
- 主催 一般社団法人チャンス・フォー・チルドレン
宮城県仙台市青葉区本町1丁目13-32 オーロラビル1106
<http://www.cfc.or.jp/>
- 担当者 研修責任者 雑賀 雄太(サイカ コウタ/当代表理事)
- 問合せ tel 022-265-3461 mail brosis@cfc.or.jp

お申し込み

■メールで受付致します【締切:10月28日(金) 24:00】

下記お申込みフォームより必要事項を入力し、送信してください。

○パソコンメールで申込み
<http://ws.formzu.net/fgen/S75839224/>

○携帯メールで申込み
<http://ws.formzu.net/mfgen/S75839224/>



Q&A

Q 研修はどんな人たちが参加するの?

A 仙台市内にある各大学で学生ボランティアの募集を行っています。当研修には、教育・福祉・心理職を目指す人、大学生活で新しいことに挑戦したい人、東日本大震災に対して、自分でも何かやりたいと思う人など様々な目的を持った学生たちが集まります。

Q 研修では何が得られるの?

A 自分のコミュニケーションの取り方、人間関係の築き方などを見つめ直し、子どもの支援をする上で必要とされる知識・スキルを身につけることができます。また、研修は講義・実習から構成されており、知識の習得だけではなく実習を通して学びを深めることができます。

Q 研修を受けないとブラザー・シスターになれないの?

A 研修を受けずにブラザー・シスターになることはできません。研修の内容は、被災した子どもたち一人ひとりに接して、個別的な支援を行ううえで必要となる知識・スキルを習得するものです。この2日間に参加することで、適切な支援活動ができると私たちは考えています。

Q ブラザー・シスターの活動からは何が得られるの?

A 例えば、子どもが自分自身の道を見つけ、新しいステップを踏み出す過程に関わる喜びを感じることができます。またこの活動では、専門家の先生や仲間の大学生と意見交換を定期的に行います。このような様々な人と出会い、意見を交わす機会も、学生時代の貴重な経験となります。

Chance for Children について

はじめは阪神・淡路大震災

Chance for Childrenは、阪神・淡路大震災で被災した子どもたちの支援を行ってきた特定非営利活動法人プレーンヒューマンティリーのひとつのプロジェクトとして、2009年に発足しました。そして、2011年3月に発生した東日本大震災に伴い、被災した子どもたちに対しても継続的な支援を行うため、同年6月独立、一般社団法人として設立しました。

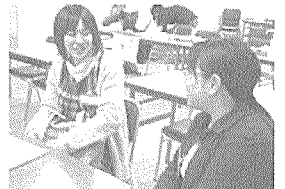
学校外教育クーポンの提供

経済的な理由で塾・予備校・習い事などに行けない子どもたちに、学校外の教育サービスで利用できるクーポンを提供し、子どもたちの学校外教育機会を保障しています。



ブラザー・シスター制度

学生ボランティア(ブラザー・シスター)が月に1回面談や電話でコミュニケーションをとり、子どもたちの学習や進路についての相談に対応し、クーポン利用についてアドバイスを行う制度です。



一般社団法人チャンス・フォー・チルドレン

022-265-3461 / brosis@cfc.or.jp

■ホームページ、ソーシャルメディアでも情報発信しています!!

○公式HP

<http://www.cfc.or.jp/>

○Facebook


<http://www.facebook.com/chanceforchildren>

○Twitter

http://twitter.com/#!/bh_cfc

○Blog

<http://d.hatena.ne.jp/chance-for-children>

 Chance for Children